

個別指導

開示資料から ①

平成25年度の指導計画

協会は四月、東海北陸厚生局富山事務所にて平成二十四年度の個別指導結果と二十五年度の指導計画などの資料を開示請求しました。今号は今年度の指導計画をお伝えします。

東海北陸厚生局富山事務所は、三月十五日に「指導対象保険医療機関等選定委員会」を開催し、今年度中に実施する指導対象医療機関を選定しました。

（表1）参照

集団指導

対象者を一堂に会した講習会方式で行われる集団指導は、保険医療機関の指定更新時（六年毎）と保険医の新規登録者等を対象に、医科・歯科とも五月と十月

【表1】平成25年度 医科歯科別 指導対象医療機関数

種類	実施件数		
	医科	歯科	
集団指導	指定更新時等	件数は不明 ※ 保険医療機関の指定更新・新規指定等を対象に5月と10月に実施する	
	保険医の新規登録等	※ 来年3月に診療報酬改定時の集団指導を実施する	
集団的個別指導	31	36	
個別指導	H24年度新規指定	7	9
	既指定	20	18

集団的個別指導

集団的個別指導は「表2」にある類型区分毎に平均点数が高い医療機関の上位八％を対象として、医科・歯科とも九月に実施される予定になっています。

医科の実施予定件数減少

従来の実施予定件数は全体の約八％で推移していましたが、今年度は約八％の三六件に対して、医科は病院・診療所とも八％を下回る件数になっています。

また、来年三月には診療報酬改定時の集団指導が予定されていますので、前回改定時と同様に、すべての医療機関を対象とした新点の説明が行われると考えられます。

平均点数の算出に使用するレセプトの種類 (指導大綱関係実施要領から一部抜粋)

レセプト1件当たりの平均点数の算出に使用するレセプトの種類は、原則として一般分とし、病院は本人及び家族の入院分、診療所は本人及び家族の入院外分(小児科は家族の入院外分)、歯科は本人及び家族の入院外分とする。なお、都道府県の実情に応じ、後期高齢者分のレセプトを使用することが適当であると認められる類型区分については、これによることも差し支えない。

老人病院は一般病院に区分変更

二〇〇三年の特例許可老人病院の廃止後も集団的個別指導における類型区分には老人病院が残されています。

運用上は「老人入院比率が六割を超える病棟を有する病院」との定義で使用されていますが、今年度から類型区分は残っているものの「施設数」はゼロとされ、一般病院の区分に統一された形になっています。

個別指導(新規)

新規指定の個別指導は、平成二十四年度中に新規開業(継承)し、新たに保険医療機関として登録された医療機関が対象となります。

実際の指導は、十人分のカルテ等の持参が求められ、レセプトと突き合わせて保険診療・保険請求の内容について指導が行われます。その場で算定要件を満たさないなど保険請求の不備返還するよう求められます。

個別指導(既指定)

既指定の個別指導は、全国的に選定理由が不開示とされていますが、二十四年度の指導結果で再指導とされた医療機関は今年度中にあらためて個別指導が実施されることになります。

指導対象の患者リストは指導実施日の四日前と前日に十五名分ずつ通知されますので、指定されたカルテ等については診療内容と医学的根拠を的確に説明できるように予めチェックしておくことが重要です。

自主返還は指摘された返還事項と同様のケースを過去一年分遡って自主点検し返還するよう求められます。

集団的個別指導の選定に使用されるレセプト一件当たりの平均点数の算出につ

後期高齢者レセプトを含めて平均点数を算出

「個別指導の対象となった年」に該当する医療機関が指導対象から除外され、結果として実施予定件数が減少したものと考えられます。

後期高齢者レセプトを含めて平均点数を算出

また、前年度に試行的に新設された「在宅療養支援診療所」の類型区分は今年度も残されています。

平成24年度の指導結果

指導結果	医科		歯科	
	新規	既指定	新規	既指定
概ね妥当	1	1	-	1
経過観察	11	17	6	11
再指導	3	6	2	3
未通知	2	5	-	3
中断	-	-	-	-
要監査	-	-	-	1
計	17	29	8	19

歯科で「要監査」が1件あり、昨年に続き2年連続での監査となります。詳細が分かり次第あらためて情報提供していきます。

※ 昨年の監査は終了していますので、昨年とは異なる医療機関が対象だと考えられます

【表2】集団的個別指導の選定に用いられる平均点数等

類型区分	①	②	③	④	⑤	《参考》H24年度データ	
	施設数	基準点数	基準を上回る件数	対象件数	選定件数	② 基準点数	⑤ 選定件数
病院	一般病院	78	48,825	17	6.2	44,422	4
	老人病院	0	-	-	-	48,633	1
	精神病院	18	37,115	0	1.4	36,792	1
	臨床研修指定病院等	14	60,625	2	1.1	54,301	1
	病院計	110	-	19	8.7	-	7
医科診療所	内科(透析除く)	264	1,480	40	21.1	1,109	21
	内科(支援診)	31	1,827	4	2.4	1,400	1
	内科(透析あり)	8	4,782	3	0.6	3,086	1
	精神・神経科	14	2,167	4	1.1	1,571	1
	小児科	48	1,148	6	3.8	1,176	3
	外科	52	1,762	9	4.1	1,467	4
	整形外科	60	1,975	7	4.8	1,322	4
	皮膚科	35	716	3	2.8	604	2
	泌尿器科	5	1,814	1	0.4	1,785	1
	産婦人科	27	1,112	2	2.1	1,061	1
	眼科	52	907	7	4.1	767	4
	耳鼻咽喉科	35	928	1	2.8	837	2
診療所計	631	-	87	50.1	-	45	
歯科	464	1,441	136	37.1	1,379	37	

《項目の説明》	
① 施設数	選定時の医療機関数
② 基準点数	平均点数の1.2倍(病院は1.1倍)
③ 基準を上回る件数	基準点数よりも平均点数が高い医療機関数
④ 対象件数	上位8%にあたる医療機関数(①×8%)
⑤ 選定件数	平成25年度の集団的個別指導実施予定件数

2013年5月度 理事会 点描

5月度理事会は5月20日開催された。出席理事数は18人とやや少なめでしたが、途中から出席者が増え、会議はいつもの活気が戻りました。

協議事項で関心が集まったのは女性部第2回企画。女性らしい華やかな案内状の評判がよかったです。参加者のうち医学生3名というのがおもしろい。今後もこのような企画には将来の会員候補医学生にどんどん声かけしたらいいですね。

もうひとつ注目していたのが、今回から新講師を招いた接遇セミナー。出席理事からの感想もたいへん評判がよく、参加者数も4会場で1000名を超えたという。来年も講師は鶴飼氏に決定です。終わりに、最も大事な数である会員拡大の取り組み報告ですが、1200人台を回復したとのこと。喜ばしいことです。

(副会長・前川裕)

女性部企画の報告で活気 接遇セミナーにも話題が